２０１５年度　全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ最終戦

第十回 明治神宮外苑大学クリテリウム

UNIVERSITY STUDENT CYCLE ROAD RACE CUP SERIES - FINAL ROUND
10TH MEIJI-JINGU OUTER GARDEN UNIVERSITY CRITERIUM

概要書 OUTLINE OF THE EVENT ver1.3-20151217

日　程/Date	**２０１６年3月１３日（日）**	**13rd MARCH. 2016**
会　場/Venue	明治神宮外苑外周コース	Meiji Jingu Gaien Public Road Circuit
周　長/Lap	1周 1.5km	1.5km per lap
主　催/Organizer	日本学生自転車競技連盟	Japan Intercollegiate Cycling Federation
後　援/Supporters	明治神宮外苑	Meiji Jingu Gaien
（いずれも予定又は申請中）	東京都	Tokyo Metropolitan Government
	新宿区	Shinjyuku Board of Education
	公益財団法人 日本サイクリング協会	Japan Cycling Association
	公益財団法人 日本自転車競技連盟	Japan Cycling Federation
会場警備/Traffic security	株式会社シミズオクト	Shimizu Octo Inc.
協　力/Cooperation	東京都自転車競技連盟	Tokyo Cycling Federation
協　賛/Sponsors	株式会社日直商会	Nichinao Shokai
	株式会社パールイズミ	PEARL IZUMI.,INC
	ほか（予定）	

特　徴

学生スポーツのメッカ・神宮外苑での大学サイクルスポーツの頂点

日本全国を転戦する全日本学生ロードレース・カップ最終戦＋クリテリウム学校対抗

明治神宮外苑大学クリテリウムは年間十数戦からなる「全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ」最終戦として位置づけられ、総合優勝者に授与される黄色地に学連ブルーのチャンピオンジャージを競う場となっており、大学生の都市型ロードレースにおける頂点を決する大会です。また、学校別チームエントリーによるクリテリウム学校対抗戦ともなっており、インカレ、チーム・ロードレースと並んで大学別優勝を決する大会として高く位置づけられています。更に世界大学選手権自転車競技大会派遣選手選考大会のひとつでもあり、学生自転車スポーツの国際化とレベル向上に寄与し、明治神宮外苑に根付いてきています。

シリーズ戦

リーダー・ジャージ

平成２７（２０１５）年度　日本学生自転車競技連盟　RCS計画案					2015.08.31.
2015年					
4	18-19	土･日	第1戦	菜の花飯山ラウンド(クリテリウム)	長野県飯山市
4	26	日	第2戦	近江ラウンド(クリテリウム)	滋賀県東近江市ふれあい公園
5	16-17	土・日	第3戦	第17回修善寺オープンロード	静岡県：日本ＣＳＣ 5kmサーキット
5	24	日	第4戦	京都美山ラウンド・ロードレース	京都府旧美山町
7	25	土	第5戦	WANGANサイクルフェスティバル湾岸クリテリウム	東京都江東区青海
8	1-2	土･日	第6戦	第１０回 白馬クリテリウムラウンド	長野県・白馬町特設サーキット
9	6	日	第7戦	けいはんなサイクルロードレース	京都府木津市
9	13	日	第8戦	山形村ヒルクライムラウンド	長野県山形村
11	15	日	第9戦 東	浮城の町行田クリテリウムラウンド	埼玉県行田市・運動公園前
11	15	日	第9戦 西	益田チャレンジャーズステージ	島根県・益田市
12	13	日	第10戦	埼玉クリテリウム行田第1ラウンド	埼玉県行田市・古代蓮の里
2016年					
1	10	日	第11戦	埼玉クリテリウム行田第2ラウンド	埼玉県行田市・古代蓮の里
1	24	日	第12戦	埼玉クリテリウム行田第3ラウンド	埼玉県行田市・古代蓮の里
2	21	日	第13戦	埼玉クリテリウム行田第４ラウンド	埼玉県行田市・古代蓮の里
3	13	日	最終戦	第十回明治神宮外苑大学クリテリウム	東京都・明治神宮外苑

都心型クリテリウムの黎明　54 年ぶりの都心部サーキットロードレースとなった７０周年記念クリテリウム

２００７年２月４日に「明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会」は、 日本学生自転車競技連盟創立７０周年記念行事として、関係各位のご協力を得て晴天に恵まれ、多数の観客が見守るなか円滑に開催されました。所謂都心部を主会場とする自転車ロードレースの継続開催を望む各方面の方々の声に応え、多くの方々が観戦可能な都心部での大会として継続開催されています。

サイクルスポーツの国際交流促進

学校対抗形式（各校３名のチームエントリー）のグループ１には 2009 年・韓国から安東大学チームが、翌年には韓国体育大学が韓国学生チームが参戦、 以降オランダやオーストラリアから毎年招待チームが参加し、国際色を伴ってきています。

2016 年はオランダからアムステルダム大学チームの参加を予定しています。

走りながら考えよう　「大学自転車フォーラム」をレース前日に開催

大会開催のみにとどまらず、全国から競技者の集まる機会を活用して前日に「ユニバーシティ・フォーラム」を開催しています。2013 年のユニバーシティ・フォーラムではドーピング問題を取り上げ、各方面から注目を集めました。2014 年は、ロンドン五輪を契機に整備された「ヴェロパークのレポートを挟んで、東京・日本が残すべきレガシーについていち早く議論が行われました。2015 年は大規模木構造によるヴェロドロームの可能性について東京大学の川添准教授の提案をお聞きし、トラック会場のあり方について学生達の熱心な議論が行われました。2016 年のテーマは**「２０２１年の自転車競技にむけて その３」**を予定しています。（詳細未定）
東京オリンピック・パラリンピックに向けた準備はもちろん重要ですが、その後の社会に何を引き継げるか、を意識しながらこれからの時間を過ごすきっかけとすることを期待しております。

こども、その親の世代であるマスターズ世代に参加機会のある大会へ

将来のサイクルスポーツ振興にとって学生自転車競技の振興は不可欠ですが、それにとどまらず、将来サイクルスポーツに何らかの関わりを持つ若年層の掘り起こしにむけて、小・中学生のタイムトライアルを実施します。

また、小中学生の来場促進のため、そのご両親の世代の自転車競技に対する理解を深める場をとして、マスターズのタイムトライアルとクリテリウムレースを実施します。

更に、競技に参加する選手達と一緒にレースコースを走る体験の機会として、またエントリー料の支払いを通じてこの大会の運営に寄与していただける方々の参加機会として、一般参加のライド（レースではありません）を実施します。

競技運営のプロトタイプ提示としての役割

皆様のこうした期待に応えるべく、日本学生自転車競技連盟は安全性に対する十分な配慮、関係機関との十分な調整に基づく入念な準備という基本方針を堅持しつつ、継続的に開催可能な収支計画とより多くの参加者を受け入れられるオープンな体制とのバランス・ポイントを求め、準備・運営を進めてまいります。社会に必要とされ、支えられる大会で有り続けるため、また補助金依存体質となることを避けるべく、民間企業・団体からの支援、参加チーム学生・OB のマンパワー、行政・開催地諸機関の協力を得て実施して参ります。この大会の実施は、他の都市部におけるクリテリウム大会実施の規範としての役割を果たしてきています。

20150831版

時　程　表

3月１２日（土）

13:30-16:00	**大学自転車競技フォーラム**	
	「TOKYO2020は何を残すか-その3」	
	於　国立オリンピック記念青少年総合センター会議室	センター棟101会議室

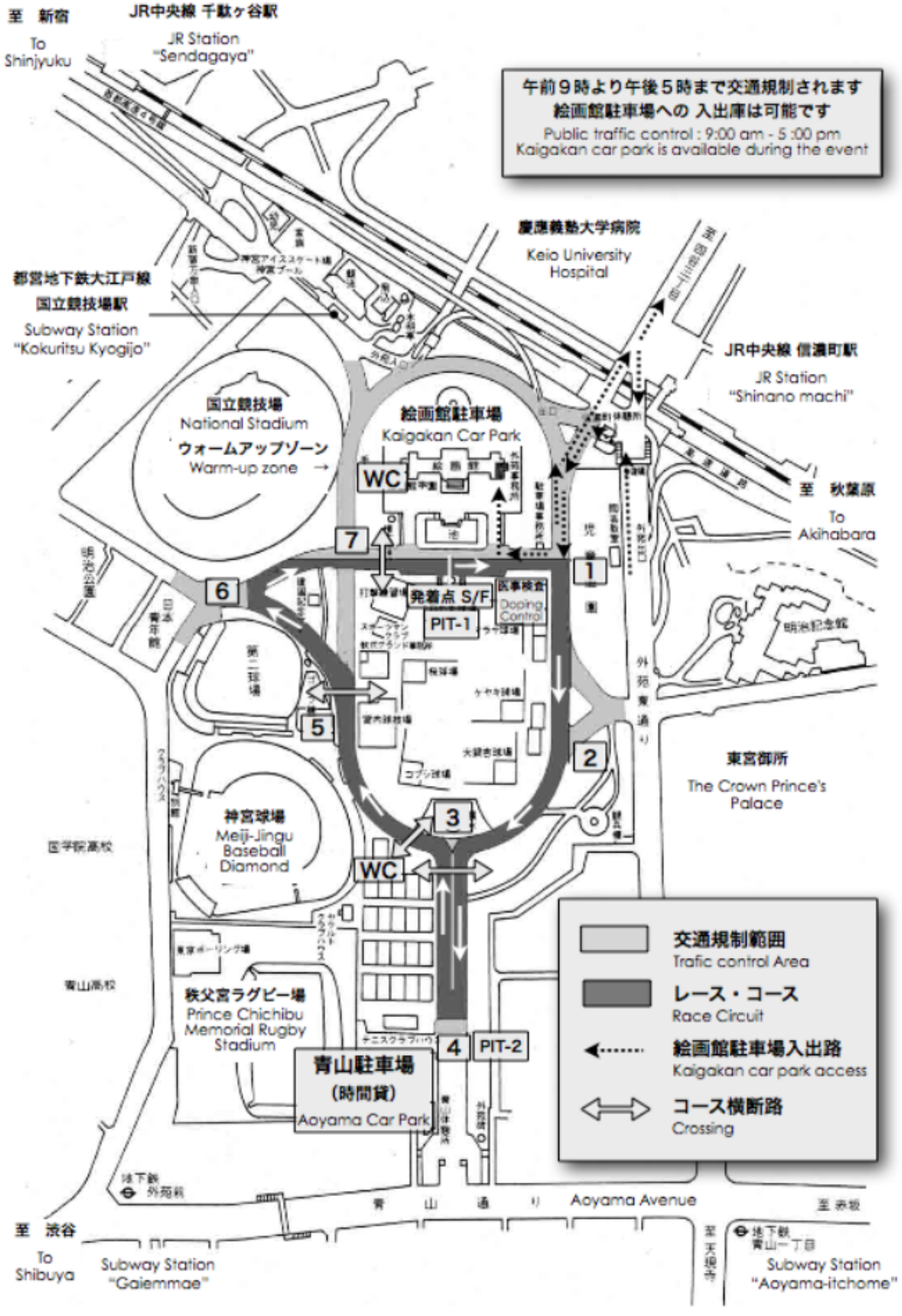
3月１３日（日）

6:00	会場設営開始	
7:30	競技役員・立哨役員集合打合	
9:00	交通規制開始	
09:00 - 09:30	参加選手受付・ゼッケン配布	
10:00	**開会式**	
10:20	**オープン&ウォームアップ・ライド**	1.5km×5laps＝7.5km
10:50	**タイムトライアル**(小・中学生,ハンドサイクル、マスターズ)	1km×1 lap＝1km
11:20	**男子大学生 グループ３ A組**	1.5km×6laps＝9km
11:40	**男子大学生 グループ３ B組**	1.5km×6laps＝9km
12:00	**マスターズ・クリテリウム**	1.5km×8laps＝12km
12:20	**表彰式（午前の部）**	
	立哨員昼食(コース閉鎖)	
13:00	**男子大学生 グループ２ A組**	1.5km×8laps＝12km
13:25	**男子大学生 グループ２ B組**	1.5km×8laps＝12km
13:50	**女　子（学連登記選手+JCF登録競技者）**	1.5km×8laps＝12km
14:20	**男子大学生 グループ１（大学対抗）**	1.5km×20laps＝30km
15:20	**表彰式・閉会式（午後の部、大学対抗、シリーズ総合）**	
17:00	規制解除（予定；早まる場合があります）	

式　次　第

開会式	１０時００分より スタート・フィニッシュ地点にて
開会宣言	十時隆櫻　日本学生自転車競技連盟学生委員長
主催者挨拶	村岡　功　日本学生自転車競技連盟会長
来賓挨拶・ ゲスト紹介	未定
	オランダ・アムステルダム大学チームメンバー
全日本学生 RCS 門田杯返還	前年度 RCS 総合リーダー
選手宣誓	前回優勝校代表

表彰式・閉会式	１５時２０分より スタート・フィニッシュ地点にて
表　彰	午後の部各カテゴリ、大学対抗優勝杯贈呈、RCS 総合
歓送のことば	松倉信裕　日本学生自転車競技連盟理事長
閉会宣言	十時隆櫻　日本学生自転車競技連盟学生委員長



午前９時より午後５時まで交通規制されます
絵画館駐車場への 入出庫は可能です
Public traffic control : 9:00 am - 5 :00 pm
Kaigakan car park is available during the event
至 新宿
To Shinjyuku
JR中央線 千駄ヶ谷駅
JR Station "Sendagaya"
慶應義塾大学病院
Keio University Hospital
都営地下鉄大江戸線
国立競技場駅
Subway Station "Kokuritsu Kyogijo"
JR中央線 信濃町駅
JR Station "Shinano machi"
国立競技場
National Stadium
ウォームアップゾーン
Warm-up zone →
絵画館駐車場
Kaigakan Car Park
WC
至 秋葉原
To Akihabara
発着点 S/F
PIT-1
医事検査
Doping Control
明治公園
日本青年館
第二球場
明治記念館
外苑東通り
東宮御所
The Crown Prince's Palace
神宮球場
Meiji-Jingu Baseball Diamond
国学院高校
青山高校
秩父宮ラグビー場
Prince Chichibu Memorial Rugby Stadium
青山駐車場
（時間貸）
Aoyama Car Park
PIT-2
交通規制範囲
Trafic control Area
レース・コース
Race Circuit
絵画館駐車場入出路
Kaigakan car park access
コース横断路
Crossing
地下鉄 外苑前
青山通り
Aoyama Avenue
至 赤坂
至 渋谷
To Shibuya
Subway Station "Gaiemmae"
地下鉄 青山一丁目
Subway Station "Aoyama-itchome"

全日本学生ロードレース･ カップ･ シリーズ最終戦 明治神宮外苑大学クリテリウム

テクニカル・ガイド

v2015.8.31.

大会日程　２０１６年3月１３日（日）　（雨天決行、積雪・路面凍結・荒天の場合中止）

会　　場　明治神宮外苑周回コース　１周１.５㎞　（東京都新宿区・港区）

大会主旨　本大会は、本年度全日本学生ロードレースカップ最終戦としてその総合優勝者を決定し、またクリテリウムにおける大学対抗優勝校を決定する大会である。本大会は２００７年２月に首都東京での初めてのクリテリウム大会として開催された「日本学生自転車競技連盟創立７０周年記念行事 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会」を発展的に継承し、学生スポーツのメッカである神宮外苑での学生自転車スポーツの振興普及を図るとともに、日本のサイクル・スポーツ全般の振興と東京の都市文化醸成に寄与することを目的としつつ、更に将来学生自転車競技者となる若年層の拡大に向けて、小・中学生ならびにその両親の年齢層にサイクル・ロードレースの楽しみを体験する機会を提供することをも目指す。

主催・主管　日本学生自転車競技連盟

後　　援　明治神宮外苑　東京都　　新宿区

公益財団法人日本自転車競技連盟　公益財団法人日本サイクリング協会　（予定・順不同）

会場警備　株式会社シミズオクト

協　　力　東京都自転車競技連盟　　シクロチャンネル

協　　賛　株式会社日直商会 株式会社パールイズミ　富士重工業株式会社

株式会社シマノ　ヨネックス株式会社　東武トップツアー株式会社

株式会社なるしまフレンド　有限会社横尾双輪館　株式会社オージーケーカブト

パナソニック・サイクルテック株式会社　ＪＸ日鉱日石エネルギー株式会社（予定・順不同）

競技規則　国際自転車競技連合(UCI)規則,(公財)日本自転車競技連盟競技規則,本大会特別規則による。

競技種目および参加資格

（1.2.3.4.5.7.参加資格共通事項：本年度公益財団法人日本自転車競技連盟登録競技者）

（1.～3.参加資格共通事項：日本学生自転車競技連盟登記選手）

（1.～5.は競技用ロードレーサー使用のこと、6.８.9. は自転車の制限は特にありません）

1. 大学生男子大学対抗（グループ１）　２０周３０ｋｍ

本年度日本学生自転車競技連盟加盟各校を代表する１校あたり２名から３名までの選手。

ただし日本学生自転車競技連盟ロードカテゴリ１または２の選手に限る。

本連盟が招聘した海外大学チーム、１チームあたり２名から３名までの選手。

当日ゼッケン配布時に、グループ２参加申込者より２名迄の補欠を起用する事ができる。

２名未満のチームは参加することはできない。当日欠場により２名未満となったチームはグループ２での出走を認める。

2.大学生男子グループ２　　８周１２ｋｍ

本連盟ロードカテゴリ・クラス１または２の選手。

3.大学生男子グループ３　　６周９ｋｍ

本連盟ロードカテゴリ・クラス３の選手。

4.女子クリテリウム　　８周１２ｋｍ

全ての（財）日本自転車競技連盟登録女子競技者。

5.マスターズ・クリテリウム　　８周１２ｋｍ

本年度 日本自転車競技連盟登録選手（男女）で開催年１月１日時点で満 30 歳以上の者。
ただし、集団スタートロードレース走行経験者に限ります。

6.小・中学生タイムトライアル　　１周１ｋｍ（銀杏並木Ｕターンなし）
小・中学校年齢の児童・生徒で、ヘルメット＆グローブ着用・自分の自転車で参加できる者。

7.マスターズ・タイムトライアル　　１周１ｋｍ（銀杏並木Ｕターンなし）
本年度 日本自転車競技連盟通年登録選手（男女）で 2015 年１月１日時点で満 30 歳以上の者。

8.ハンドサイクル・タイムトライアル　　１周１ｋｍ（銀杏並木Ｕターンなし）
ハンドサイクルを使用する男女、年齢制限無し。本年度 日本自転車競技連盟通年登録選手でないものは本大会申込を以て臨時登録者として参加できる。

9.オープン＆ウォームアップ・ライド (レースではありません)　５周７．５ｋｍ
ヘルメット＆グローブ着用・自分の自転車で参加できる者。

および上記１から８に参加するすべての者。

各カテゴリとも上限概ね６０名（オープン＆ウォームアップ・ライドは概ね１００名）迄。

日本学生自転車競技連盟加盟各校については選手数に応じた立哨役員・競技役員と、大会本部用テントの供出を参加のための必要条件とする。

選手数	供出立哨役員数（東京および隣接県の学校）	供出立哨役員数（左記以外の学校）
1	0	0
2～3	1	0
4～5	2	1
6～7	3	1
8以上	選手２名につき１名（少数点以下切り捨て・最低数）	選手４名につき１名（同左）

立哨役員は、コース上の指定された箇所（合計約１００カ所）に立ち、選手と一般客・歩行者との事故防止その他の安全管理にあたる。立哨役員は審判資格を必ずしも必要としないが、自転車競技に関する経験もしくは理解があり、自転車競技のスピード感や走行特性について体得している者とする。立哨役員・競技役員には、交通費等は支給されない。

・大会本部用テントの供出数
大学対抗に出場する東京・埼玉・千葉・神奈川の学校から各１張。テントの大きさは特に制限しないが、大きめのものを歓迎。供出するテントの大きさ・数を電子メールで事務局に連絡のこと。持参しない場合は１万円のペナルティーを課す。

参加申込 参加を希望する選手は「スポ　ーツエントリー http://www.sportsentry.ne.jp」を利用して参申込及び　参加費支払いを行うこと。学校単位スポ　ーツエントリーにメンバ　ー登録して、出場選手一 人ひとりの参加申込し、 参加費については、学校単位にて支払う。参加費は申込時に選択したコンビ　ニエンスストアで　、支払期限 2 月２日(火)まで　に支払 を済ませること。(参加費の支払には、利用料(約 8%)が　かかるので　注意。)支払が　完了することで参加申込受付完了となる。納入した参加料は理由のいかんに関わらず　返却しない。正当な理由なき欠場者には、参加料と同額のペ　ナルティーを課す。

• 参加料は、本連盟登記大学生 5,000 円、小・中学生 500 円（新宿区・港区在住もしくは在学の小中学生は 300 円）、女子オープン 7,000 円、マスターズ・クリテリウム、マスターズ・タイムトライアル各 7,000 円、但しマスターズ・クリテリウムとタイムトライアル２種目参加時

は 10,000 円、オープン＆ウォームアップ・ライドのみの参加者は 5,000 円とする。

ハンドサイクル・タイムトライアルに参加する JCF 通年登録者は 7,000 円、通年登録者でない者は 8,000 円とする。

- 参加料には、駐車料金は含まない。
- 大学対抗に出場する学校はチーム紹介に記載する各出場選手の写真及び主な戦績を事務局に送付のこと。

大会本部　聖徳記念絵画館正面スタート・フィニッシュ地点付近テント

開設時間 08:00-17:00　電話：０８０－４１７６－２３６９

選手受付　1.大会本部にて、9:00-9:30 の間にライセンスを提示してゼッケンを受取ること。（小・中学生、オープン＆ウォームアップ・ライドはライセンス不要）

2.選手は、各カテゴリー競技開始 15 分前迄に出走サインシートに出走サインを自署すること。

事故措置　1.競技中発生した事故について参加者は自ら責任を負う。

主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応の事。

2. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入の事。

3.各選手は、健康保険証を必ず持参すること。

特 別 規 則

第１条（個人順位）

最終周回のフィニッシュラインへの到達順位により順位を決定する。

第２条（大学対校順位）

大学生男子グループ１に出場の各校における上位者２名の順位合計の少ない学校順。

順位合計同等の場合はより上位者を有する学校。

第３条（周回獲得、遅れ）

主集団の後尾に追いついた競技者は１周回先行したものとみなし、周回の優位性を認める。

原則としてメイン集団より遅れた２０名以下の集団の選手は直ちに失格とする。

認められる事故による遅れの場合、遅れ集団が２０名以上の場合はコミッセールの判断による。

競技を中止した選手は、コースから出て、速やかにゼッケンを外すこと。

第４条（中間スプリント賞）

男子大学生グループ１の５周回目、１０周回目、１５周回目終了時にフィニッシュラインを１位で通過した者に中間スプリント賞として賞品を与える。

また、女子及びマスターズについては４周回目終了時にフィニッシュラインを１位で通過した者に同じく中間スプリント賞として賞品を与える。

第５条（事故）

認められる事故の場合、最後の２周（グループ１は５周）を除き１周のニュートラリゼーションが適用される。

器材修理は、指定されたピット（S/F 地点および銀杏通り U ターン部）においてのみ認められる。

第６条（飲食料補給）

飲食料の補給は認めない。

第７条（自転車）

公道上を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする。

第８条（無線装置）

競技者はレース中、無線装置の使用を認められない。

第９条（ギア比）

大学生ジュニア選手のギア比の制限は行わない。

タイムトライアルのジュニア、ユースのギア比は JCF 規則による。

第 10 条（賞典）

オープン＆ウォームアップ・ライド　参加者全員に参加賞（表彰式はありません）

小中学生タイムトライアル　　完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞（全員表彰台へ）

マスターズ・タイムトライアル　完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞（全員表彰台へ）

親子孫家族表彰　　小中学生＋マスターズ・タイムトライアル２名合計タイム最上位者に賞品

以下のカテゴリーは上位３位までを対象として準備が整い次第、表彰式を行う。

マスターズクリテリウム、ハンドサイクル TT、女子クリテリウム、男子グループ１，２，３

優勝者：賞状・賞品、第 2-8 位：賞状。

大学対校順位　　優勝校：賞状・賞品、第 2-8 位：賞状。

大学生男子グループ３各組上位５％は、クラス２に昇格する。大学生男子グループ２各組ならびに大学生男子グループ１に出走したクラス２の選手の最上位者はクラス１に昇格する。

第 11 条（その他）

ボトル、食料の残り・包装等、固形物は、フィニッシュ地点およびピットにてチーム同僚が回収する場合のみ地面に静かに落とす事が認められる。それ以外の場所でのあらゆる固形物の投げ捨てはコース内・外、レース中・外を問わず、３０００円のペナルティを科す。

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。

問い合わせ先：日本学生自転車競技連盟

〒150-8050　東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館 412 号室

電子メール：jicf@remus.dti.ne.jp　ホームページ：http:// www.remus.dti.ne.jp/~jicf/

事務局 FAX：０３－３４８１－２３６９（お問合わせはなるべく電子メールにて御願いします。電話問い合せは毎週水曜１９時より２２時のみ承ります）